

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こぐれ ゆういち	
氏名	木暮 祐一	
所属・役職	名桜大学人間健康学部健康情報学科 教授 沖縄県伊平屋村 最高デジタル責任者（CDO）	
活動拠点	全国で活動	
略歴	1967年、東京都出身。杏林大学保健学部卒、徳島大学大学院工学研究科修了、博士（工学）。出版業界（編集者）、モバイルコンテンツ業界（広報宣伝）を経て、2009年武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授、2013年青森公立大学経営経済学部地域みらい学科准教授。2021年4月よりソフトバンク株式会社に移り、一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構事務局長に就任し、デジタル技術による地域課題解決およびDX推進を支援する仕組みづくりを行う。2023年4月より名桜大学人間健康学部健康情報学科教授。青森県立保健大学大学院非常勤講師、徳島大学理工学部非常勤講師、熊本大学医学部非常勤講師 兼務。	
地域情報化の専門分野・技術	1. 医療・介護・健康 2. 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 3. デジタルデバйд対策	
専門分野	AI活用 生成AI活用 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク） デジタルデバйд対策 5G 教育 情報化/情報教育 働き方 テレワーク 医療・介護・健康 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT活用広報	
自治体向けメッセージ	これまでモバイル（スマートフォンやIoT機器など通信可能な可搬情報通信端末等）の社会応用に関して長年に渡って取り組んできました。8年間在住した青森県では産学官連携によりVRやドローンなど最新ICTを活用した地域情報発信などを手掛けてきました。またオンライン診療の推進など医療分野におけるDXの取組にも携わりました。必要となる関係者をつなぎながら地域におけるDXの推進およびデジタル技術の社会実装などを手掛けていきます。	
関連サイト	http://kogure.jp/ https://wirelesswire.jp/2020/01/74104/	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	株式会社法研（1992-2000） ・健康情報誌編集・記者 ・出版編集業務のICT化（DTP導入、社内ネットワーク構築等推進） 株式会社アスキー（2000-2002）

		・アスキー『携帯 24』編集長 ・インターネットメディアの構築、E コマースの立ち上げと関連企業等とのアライアンスなどを担当、新規事業多数 株式会社ケイ・ラボラトリー（2002-2004） ・広報担当マネージャー ・産学連携による大学ラボ事業、地方の ICT 人材育成 徳島大学大学院（2004-2007） ・モバイル遠隔医療システムの開発 武蔵野学院大学（2009-2013） ・東日本初となった、iPad 全新入生貸与にかかわる企画推進を担当。キャンパス内 Wi-Fi 構築や教育体制構築も含むすべてを陣頭指揮 青森公立大学（2013-2021） ・下北半島における位置情報ゲームを活用した地域振興イベントの実施 ・大鰐町における VR を活用した観光プロモーションの実施 一般社団法人 SDGs デジタル社会推進機構事務局長（2021-2023） ・DX 推進およびデジタル技術の社会実装の支援 ソフトバンク株式会社（2021-2023） ・一般社団法人 SDGs デジタル社会推進機構の設立および事業推進 名桜大学（2023-） ・医療・健康分野の DX 推進に関する実践と研究、離島のデジタル化支援
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	2005 年-2007 年 沖縄県専修学校各種学校協会「デュアルシステム活用型即戦力モバイルコンテンツ開発技術者育成、専門学校高度化教育プログラム開発」 2012 年-現在 福岡県飯塚市経済部主催、e-ZUKA スマートフォンアプリコンテスト審査員長。アプリコンテストの企画運営、人材育成支援および、支援企業とのアライアンスなどに主体的に携わる。 2012 年-現在 一般社団法人スマートフォンセキュリティ協会 アドバイザー 2015 年-2021 年 青森県における青少年のスマートフォン健全活用に向け、e ネットキャラバン学生講師制度の実現や、青森県警と連携したサイバー防犯ボランティア活動を推進。この関連で、2017 年に総務省東北総合通信局長表彰を受賞。